

44年間  
ありがとう

# 旧・耳原鳳クリニックで お別れ会



田端 所長

2025年3月28日をもって、旧・耳原鳳クリニックは最後の診療を終えました。44年間、地域に根差したクリニックとして、診療はもちろん、友の会の活動など、さまざまな人々を迎え入れ、鳳に耳原の病院ありと診療をはじめとした活動を行ってきました。新クリニックへの慌ただししい引越作業の中、お世話になった耳原鳳病院・クリニックへ思いを伝えようと、職員や友の会の方たちが集まり、お別れ会を行いました。



池田 前所長

はじめに田端所長より、ご自身が研修時代を過ごした懐かしい思い出話や、これまでの感謝の気持ちと、建て替わった新クリニックへの意気込みを話されました。そして、長年にわたり所長を務められた前所長の池田先生からは、大阪府下で二番目に訪問看護を立ち上げたことや、患者さんが利用しやすいように病院へ送迎バスを走らせたことなど、これまでの歴史を語られ、最後に、健康友の会の江戸会長は、耳原鳳クリニックへの愛着と熱い思いを涙な



健康友の会  
みみはら  
江戸 会長

がらに話されていました。地域の高齢者の方の集まりにいくと「耳原鳳病院でもっとダイエーに近いところにあつてんで」「昔、母が入院させてもらってたわ」など、多くの地域の方が知っていて、そして慕われていたクリニックだと感じさせられます。新たに建て替わった耳原鳳クリニックへその歴史を引き継いでいけるといいなと思います。最後に、集まった職員や友の会会員さんとともに記念撮影。本当に、いままでありがとう！

## 新たな歴史に向かって

## 鳳エリア建替え運動の道 (24)

### 建替えへの期待 (その2)

私小児科が目指してきたものは、鳳地域の皆さんと協力・連携し子どもたちの健やかな成長を願



い、安全・安心の医療を提供することです。現在は医師体制の困難もありますが、目指すものは同じです。

私は高校時代は知的障害の子どもたちの施設訪問、学生時代は障害児の在宅訪問、「ひかり協会(後述)」事業のボランティアをしました。私自身、森永ヒ素ミルク中毒の被害者(事件発生19



ます。鳳クリニックでも被害者の健康診断をしています。民医連が被害者とともに歩み、救済事業に果たしてきた役割はとも大きく、私の「民医連愛」は強

55年)で、医師になってからは「森永ヒ素ミルク中毒の被害者を守る会(長年同会の大府本部副委員長)」や救済事業法人の「ひかり協会」の事業のお手伝いをしてい

く、それに共感しました。泉州看護専門学校の小児科学講義では、私の経験・思いと民医連綱領・様々な全国民医連の実践(阪神・淡路大震災、様々な患者会支援活動



等)をお話しています。学生時代は手話サークルに通い、今、聴覚障害の方の外来診療に少しは役立っているかな。2008年からはひまわり会の理事長を拝命し、少し

でも住みよい堺市になればと思っています。友の会活動は新聞「聴診器」のコラムを書き、ふくいずみ支部の世話人・新聞「とも」の手配り等です。最近では自分の経験や民医連運動のすばらしさを若い人達にも伝えていくことに腐心しています。私事ですが、娘が同じ大阪民医連(大正民主診療所)で働いていることは嬉しく思っています。(鳳小児科医師・ひまわり会理事長・友の会ふくいずみ支部世話人 岡本 裕宏)

## 5月26日(月) 耳原総合病院 エントランス作品 『10TH: Expectation~希望の芽~』

無料 申込不要 耳原総合病院の新築建て替えから10周年記念 YUKO TAKADA KELLER氏による二つの特別企画

第1部 15:30~17:00 (最終入場16:30)

「ペーパーモビール」アートワークショップ  
〈自分へのメッセージや、誰かへの「ありがとう、の思いを込めて」ワークショップ開催時間中の入退場自由。ぜひお気軽にご参加ください。〉

第2部 18:00~19:30

講演会「デンマークの社会政策 ~その背景にあるデザイン力~」

地域住民・保護者同伴児童・職員…どなたでもご参加いただけます



企画の詳細は後日ブログnoteにてご覧ください ▶



場所: 社会医療法人同仁会 地域コミュニティ棟1階『みみっば』  
住所: 堺市堺区大仙西町6丁176

同仁会本部・耳原歯科診療所の道を挟んで西横



YUKO TAKADA KELLER